

No.170



2024.Spring

〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>

祝

男子剣道部
第33回 全国高等学校剣道選抜大会
第51回 魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会

準優勝
準優勝

女子剣道部
第38回 魁星旗争奪全国高校女子剣道大会

3 位



学校法人佐賀龍谷学園
龍谷中学校・高等学校
校長

吉松幸宏

A circular portrait of Dr. James C. Yen, a man with glasses and a suit.

いします

教校の名で佐賀市呉服元町に設立され、今年145年目を迎えた歴史と伝統のある学校です。

校訓である「合掌」「感謝」「自律」「明
朗」をもとに、浄土真宗の宗祖である親
鸞聖人の「佛教元」を建学の精神として

「この教育」と5つビジュンに加え人間力を養う能力を身に付ける教育をプラ

教育)また、スローガンを「凛として
朗らかに 爽やかに」としています。

響を受けた教育活動も、分類が5類に引き下げに成り、次第に日常生活を取り戻す。本校の先生は、主として

ちの学びを止めではないと研修会を開催し、iPadのある学校としてICT活用の授業を展開。賃質向二・三刀向二にて

つとめています。諸行事の自粛もありましたが、昨年度は4度目となる中学校と高等学校の合同の体育祭を行いました。

保護者の参加制限の解除に加え、龍谷保育園の園児の参加もあり大変盛り上がり上がりました。修学旅行も実現できました。きつ

と生徒たちは大きく成長してくれたと思います。人生にはいいことも、そうでないこともあります。でも、前を向いて進んで

いくしかないと思っております
学校は生徒が将来、社会での自立を目的とするための教育機関です。

三体的生き方を育むことを
であり、自分の生きる道や方向を探すところです。

本校では、児童生徒が高い「志」と「理想」をもつて新しい社会を牽引していく人材となるよう育成し、新たな社会へ対応できる「生きる力」「本物の学力」を育み、主体的に学ぶに向かうことが大切だと考えて教育活動に励んでいます。

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のいわゆる「知・徳・体」の三つの要素をバランスよく育むとともに、自己の持つ個性と能力を最大限に發揮し、様々な個性を伸ばしていく。国際的な視野に立ち、社会経済の発展に創意を持つて対応し、文化の創造や産業の振興など社会や地域の発展に貢献できる、心身ともにたくましい人材の育成を教職員一同「チーム龍谷」を合い言葉に、今年も「パワーアップ龍谷」で生徒達を伸ばしていきたく思つていただけるようにと頑張つています。

今年度は、佐賀県で47年ぶりに国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（旧名称：国民体育大会）が県内各地で開催されます。また、全国高校総合体育大会（北部九州総体）も開催されます。3月末には本校の剣道部男女が、全国大会で男子は準優勝、女子は3位という成績をおさめ、見事な活躍を見せてくれました。今年度も本校の生徒が全国大会のステージで活躍することを念願しています。

さて、今年度の人事異動で新たに12名の方々に来ていただきました。今年は、学校現場が忙しくなりますが、146年度となる本校の歴史と伝統に新たな歴史の1ページを教職員一丸となつて連携・協働を通して高め合い、素晴らしい学校へと成長させて行きたいと考えています。新たに入学してくれた生徒諸君。本校に入学してくれて、ありがとうございます。本校に一日も早く慣れて夢に向かつて頑張つください。応援しています。

末尾になりましたが、保護者の皆様方、日頃より本校の教育活動に、ご理解ご協力いただき感謝申し上げます。今後とも、宜しくお願ひ申しあげます。

三月・四月を中心には、県内寺院のご法座にお参りさせていただくご縁をいたしました。

まず何より驚いたのが、ご門徒の皆さんの聴聞の姿勢です。真剣な眼差しで、時には笑いあり、大きな領きありの内で、講師の方のお話に耳を傾けておられました。

存在・学びに向かう姿勢が不可欠です。その逆もまた然り。

このようなことを考えていたら、ふとある方を思い出しました。

吉本新喜劇を舞台にコメディアンとして活躍されたチャーリー浜さんという方です。舞台上で多くのギヤグを飛ばし、観客を笑わせていました。その中に、「君どちらがいい、美がいい」

「君たちがいて、僕がいる」というフレーズのギャグがあります。仏さまの教えの中に、「縁起（えんぎ）」というものがあります。この世

界の全ては決して單獨では存在せず、お互に関わり合いながら成立しているのだ、ということです。

私という存在も同じです。自分一人で生きているのだと思つたら実は大間違い。多くの支えの中で私は存在しているのだよ

ということです。少し言葉をアレンジすれば、「あなたたちがいて、私がいる」となるでしょう。

ご法座も学校も、場所は変われど同じではないでしょうか。ともに「あなたたちがいて、私がいる」のかけがえのない空間です。

ご法座をきつかけに、ふとこんなことを感じさせていただいたところでし
た。

久です。その迷惑もまた然り
学校は職員一人が一生懸命授業をしても成り立ちません。そこには生徒の

同 朋

同 朋

卒業おめでとう

～卒業式～



将来、皆さんが頑張っているニュース
を聞くことを楽しみにしています。

3年学年主任 古賀 慶宣

今まで、これからも多くの人と接していく中で、誰に対しても「感謝」の気持ちを忘れないでください。今まで自分を育ててくれた保護者や関わってくださった方々への感謝を忘れず、さらに成長していきましょう。

また、どのような世界に飛び込んで、人とのつながりは大事です。自分が知らないところで、多くの人のつながりがあります。お互いに尊敬しあつて、勉学に仕事に頑張つて欲しいと願っています。

今年、社会に出る人、4年後に社会に出る人、期間は様々ですが、いずれ社会にてていきます。そのときに、今までの自分の考え方や行動が通用しないときも多くのあります。新しいことを学び、それを考え行動できる大人になつてください。高校生活で感じた楽しいことにしさも加え、さらに大きく成長してほしいと思います。

卒業生の皆さんには、高校生活はどうでしたか。満足できる毎日であつたらいいなと思います。多くの友達ができ、たくさん経験をしたことでしょう。そういうものを大事にして次のステージに進んでいくください。

今年、社会に出る人、4年後に社会に出る人、期間は様々ですが、いずれ社会にてていきます。そのときに、今までの自分の考え方や行動が通用しないときも多くのあります。新しいことを学び、それを考え行動できる大人になつてください。高校生活で感じた楽しいことにしさも加え、さらに大きく成長してほしいと思います。

*** 桜咲く！合格状況 ***

令和5年度も多くの合格実績を出すことができました。特別進学コースは、東京医科歯科大学をはじめとする国公立大学に5割近くの生徒が合格しており、私立大学にも多くの生徒が合格しています。文理進学コースも、国公立大学をはじめ、西南学院大学や福岡大学などの私立大学に合格しています。また、総合・保育コースからも多くの中大へ進学しています。

本年度も、多様化する社会のニーズや受験方式に対応することができる進路指導を実践していきます。

【国公立大学】

帝京平成大学 東京農業大学 同志社大学 長崎国際大学 中村学園大学 名古屋外国語大学 西九州大学 西日本工業大学 日本経済大学 日本文理大学 広島工業大学 福岡工業大学 福岡看護大学 武蔵野大学 福岡国際医療福祉大学 立命館アジア太平洋大学 龍谷大学 早稲田大学

カデミー 医療福祉専門学校 大原スポーツ公務員専門学校 大村美容ファッショングループ専門学校 大川看護福祉専門学校 九州医療スポーツ専門学校 九州国際情報ビジネス専門学校 九州文化学園調理師専門学校 九州ビジュアルアーツ専門学校 小出美容専門学校 公務員ビジネス専門学校 佐賀市医師会立看護専門学校 鳥栖三養基師会立看護等専修学校 中村調理製菓専門学校 ハリウッドワールド美容専門学校 平岡調理製菓専門学校 福岡医健・スポーツ専門学校 福岡医療秘書福祉専門学校 福岡ウエディング&ブライダル専門学校 福岡歯科衛生専門学校 福岡天神医療リハビリ専門学校 福岡農業大学校 福岡ビューティーナリーアーツ専門学校 福岡美容専門学校 福岡ベルエポック美容専門学校 福岡南美容専門学校 福岡リゾート&スポーツ専門学校 柳川リハビリテーション学院

(文責 古賀慶宣)

【専修・専門学校】

アカデミー看護専門学校 麻生公務員専門学校 麻生外語観光＆ブライダル専門学校 ASOポップカルチャースクール 門学校 BE STAFF MAKE UP UNIVERSAL F・Cフチガミ医療福祉専門学校 インターナショナルエアアート

【各種学校】

佐賀県立産業技術学院



卒業おめでとう

～卒業式～

「今日から龍谷生!」希望に満ちて

～令和六年度 龍谷中学校・高等学校入学式～

4月9日、令和六年度入学式が挙行されました。真新しい制服に身を包み、中学生19名、高校生名²⁸²が龍谷の仲間入りをしました。

式では新入生を代表して高校生の鬼塚結衣さん（①特進・成章中）と中学生の千喜田陽龍さん（①厳木小）が宣誓を行いました。

鬼塚さんは、「新たな経験を通して多くのことを得て、それぞれの目標や目指す人間像に近づくことができるよう努めたいです。」と力強い声で宣誓をしました。

入学おめでとうございます。これから新しい学校生活が始まります。何事も前向きに挑戦し、充実した3年間・6年間を過ごしてください。

（文責 小杭）



願正寺参拝

対面式

4月10日(水) 本校グラウンドにて、在校生と新入生の初の顔合わせとなる対面式が行われました。高等学校の新入生代表である古賀太喜（①文理・田代中）さんは、澁刺とした様子で「少しでも早く龍谷高校での学校生活に慣れ、勉強や部活動に積極的に取り組み、高校生の時しか得られない経験や感動を一つでも多く得ていきたい。」と決意表明をしました。

（文責 小杭）

4月16日（火）午前中、願正寺の本堂にて新入生²⁸²名が、ご住職と宗教部の平井先生からのお話しを聞きました。ご住職からは龍谷高等学校の歴史の話を、平井先生からは龍谷高等学校の建学の精神や宗教行事に関する説明をしていただきました。¹⁴⁶年前に浄土真宗のみ教えを大切にされた多くの方々の熱い思いによって願正寺に振風教校（龍谷高等学校の前身）が開設されたことを知った新入生たちは、その歴史を築きあげていく一員にふさわしい高校生活を送っていく決意を固めることができました。

（文責 長田）



Ryukoku Interview 剣道部 「龍谷史上最高の時代に」

男子剣道部

第33回全国高等学校剣道選抜大会

準優勝

第51回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会

準優勝

女子剣道部

第38回魁星旗争奪全国高校女子剣道大会

3位



剣道部が全国の舞台で活躍し、素晴らしい成績をおさめられました。そこで、剣道部の主将である弓 翔太（③文理・北茂安中）さん、樋橋 優那（③文理・大和中）さんにインタビューを行いました。

Q 今回、素晴らしい活躍をされていましたが、このような結果に結びついた理由はありますか。

弓：目標をしっかりと立てられたからだと思っています。予選が始まる前に部員で話し合い、「全国選抜で優勝する」という目標を立てました。全員がその目標達成に向けて、練習していたため今回の結果に結びついたと思います。

樋橋：自分たちの武器である攻めの剣道をいかしながら、最後まで勝利を信じて戦い抜けたことが理由だと考えています。

Q 今回の大会で印象にこっていることはなんですか。

弓：全国大会を通しての感想になりますが…仲間たちが、大将である自分の番まで繋ごうと必死に戦っていた姿が一番印象に残っています。

樋橋：選抜大会を逃して、気持ち的にも剣道の技術面的にも苦しかったのですが、みんなで声を掛け合ったり、「やらなければならぬ」と気持ちを切り替えたりしたこと、チームが一丸となって戦えた試合がたくさんあったことですね。話し合いました。

Q 稽古の際に意識していることは何ですか。

弓：練習のための練習にしない、試合のための練習ということを意識しています。全員が練習の意味や目的などを理解した上で試合を想定し、こなす練習にならないようにしています。

樋橋：女子は、気持ちの変化が剣道に出やすいので、同じ目標をもって稽古に挑むことができるよう、稽古の前後や練習試合前にミーティングを開くなど、コミュニケーションをとることを意識しています。

Q これから高校総体や国スポも実施されますが、チーム・個人の課題や目標などを教えてください。

弓：チームとして大きく掲げている目標は、「龍谷史上で一番強いチーム」になることです。長い歴史をもつ、龍谷剣道部の中でも一番強いチームになりたい。そのためには、結果はもちろん、かっこいい剣道を追求していきたいです。個人の目標としては、憧れられる選手になりたいです。

樋橋：選抜の時はメンタルの波があったので、メンタルの強化がチームの課題だと思っています。個人の目標は、ポイントゲッターとしてどのような状況でも勝てるようになります。

Q 最後に意気込みをお願いします。

弓・樋橋：高校総体・国スポともに男女アベック優勝を果たします。そして、龍谷史上最高の時代を作りあげます。

(文責 小杭)

龍谷 SPORTS & CULTURE

【テニス】

第51回九州ジュニアテニス選手権大会
佐賀県予選（4月4日、5日・SAGAサンライズパーク庭球場）

18歳以下男子シングルス

優勝 横 侑聖（③東与賀）
ベスト8 松本涼太郎（③城 北）

18歳以下男子ダブルス

準優勝 横 侑聖（③東与賀）
松本涼太郎（③城 北）

第52回佐賀県高等学校テニス選手権大会（4月13日、14日・SAGAサンライズパーク庭球場）

男子シングルス

3位 横 侑聖（③東与賀）
5位 松本涼太郎（③城 北）

男子ダブルス

3位 横 侑聖（③東与賀）
松本涼太郎（③城北）

【剣道部】

第38回九州高等学校選抜剣道大会（2月10～11日・神埼中央公園体育館）

男子団体 3位

弓 翔太（②北茂安）
川内 夢翔（②神 埼）
野中 遥稀（②神 埼）
古川 雄大（②大 和）
森口 竣瑛（②西宮 塩瀬）
内田 尚希（②龍 谷）
平田 謙心（①龍 谷）
江頭 大聖（①北茂安）
奥山 晃英（①龍 谷）

第24回大霧島旗争奪高校剣道錬成大会（3月9～10日・牧園アリーナ）

男子団体 準優勝

弓 翔太（②北茂安）
野中 遥稀（②神 埼）
古川 雄大（②大 和）
内田 尚希（②龍 谷）

豊川 真（②龍 谷）

江頭 大聖（①北茂安）
武末 紫道（①柳川 大和）

第33回全国高等学校剣道選抜大会（3月26～28日・春日井市総合体育館）

男子団体 準優勝

弓 翔太（②北茂安）
川内 夢翔（②神 埼）
野中 遥稀（②神 埼）
古川 雄大（②大 和）
森口 竣瑛（②西宮 塩瀬）
平田 謙心（①龍 谷）
江頭 大聖（①北茂安）

第51回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会・第38回魁星旗争奪全国高校女子剣道大会（3月29～31日・秋田県立武道館）

男子団体 準優勝

弓 翔太（②北茂安）
川内 夢翔（②神 埼）
野中 遥稀（②神 埼）
古川 雄大（②大 和）
森口 竣瑛（②西宮 塩瀬）
平田 謙心（①龍 谷）
江頭 大聖（①北茂安）

女子団体 3位

樋橋 優那（②大 和）
小川 なな（②龍 谷）
友永 心絆（②相 知）
橋本 真央（②小 城）
川内 丸美緒（①龍 谷）
安達 心希（①三 瀬）
宮崎 優亞（①龍 谷）

【女子バスケットボール部】

第55回佐賀県高等学校バスケットボール春季選手権大会（3月20日、23日、24日・小城高校）

1回戦 111-111（小城高校）
2回戦 35-99（佐賀商業）

たくさんの感謝を込めて

～ 第38回定期演奏会～

3月9日（土）に佐賀市文化会館大ホールにて第38回定期演奏会を開催しました。今年もたくさんの方にご来場いただけて部員一同とても嬉しく思っています。

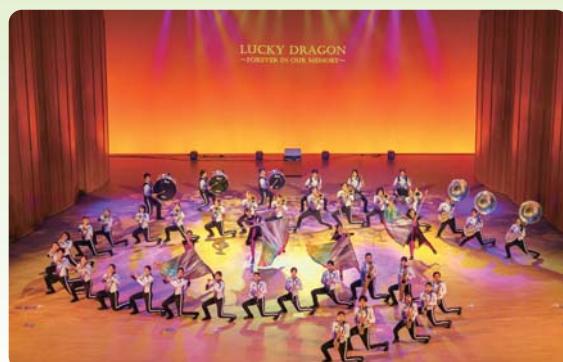
3部すべてにおいて、龍谷らしいステージを作り上げることができました。また、この定期演奏会を通して、引退された先輩方にも感謝の気持ちを伝えることもできました。

今年もこののような演奏会を開催できたのは保護者の方、地域の方などの応援があったからだと考えています。

これからも龍谷高校吹奏楽部は日々頑張っていきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

吹奏楽部 部長 平野 裕菜（③総合・鹿島西部中）

(文責 小杭)



地域を自分の手で守る！！！

(3月13日・20日)

学校近くに流れている多布施川の下流にて重点対策外来種の駆除を行った。佐賀南ロータリークラブ様主催のもと、龍谷中学校サイエンス部・ボランティアの中高校生で活動した。事前学習として、3月13日(水)に朝日テクノ株式会社様から重点対策外来種についてのご講演を中学全校生徒にしていただいた。20日の駆除の対象はコウガイセキショウモとオオカナダモという生き物で、生徒たちからは「外来種やその危なさを知ることができた。初めはどのように除草するのか、外来種を回収することができるのか少し不安だったが、とても楽しかった。」「色々な人とコミュニケーションがとれて社会貢献をすることができた。」「自分の知らない佐賀の川問題や生物のことについて学ぶ事ができた。そしてオオカナダモを駆除するときは葉が取れないように根から取るなど、普段できない体験ができ、新たな川掃除への興味が湧いた。また参加できる機会があるならぜひ参加したい。」という感想を聞くことができた。社会とのつながりを感じることができたとともに、教室の中ではできない学びの機会をいただいた。

(文責: 桶島)



竹とうろうに想いを乗せて・・・

(3月2日)

『佐賀のクリークを再び裏から表へ』をテーマにしたクリーク企画・イベントにここ数年、さがクリークネットさん・松原de川床プロジェクトさんと一緒に活動をさせていただいている。今年は、『水辺フェスティバル』でご縁をいただいたメンバーと、佐賀近くのクリークを愛する想いから、『松原川ライトアップひなまつり』に参加させていただいた。佐賀大学の学生が、三瀬で竹を伐採して、丁寧な手作業で竹枠を完成させた。そこに、心を込めて本校生徒がデザインした竹とうろうが、松原川沿いにライトアップされ、人々の心にも温もりを与えた。 (文責: 徳森)



アントレプレナーシップ教育

(11月14日(火)・3月18・19日(月・火))

新たなビジネスの創造や追究する姿勢として、ビジネスパーソンにとって必要不可欠な能力を養うべく、今回は、連携協定団体とコラボした。先だって佐賀県中小企業青年中央会組合青年部異業種マッチング会に参加した。「アリタセラの集客企画」・「子どもたちの未来のための街づくり」をテーマに青年部と交じって企画立案した。その後、優勝チーム「私たちの青春を返してください」企画に賛同していただいた。学校に持ち帰り、再度案を練り直して新型コロナウイルス感染拡大により様々なイベントが中止となった中学生生活を振り返り、クラス全員が参加した地域貢献活動を企画した。3月、富士町の鶴靈泉にてインターンシップとして「未来の佐賀の旅館」をテーマにクリエイティブな意見交換を行い、佐賀の大串製菓さん・丸きんまんじゅうさんのご指導のもと、おはぎを作り地域の方々に配布した。青春を取り戻すと共に自分たちの企画立案したものが具現化する喜びを、身をもって体験できた。 (文責: 徳森)





龍谷 SDGs なう



『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章

- ①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します
- ②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します
- ③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります
- ④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します



同世代の中国広東省深圳市信男教育学園の高校生とつながる！！！ (11月～3月)



同世代の中国生徒とつながることで、多様性・国際性を高め、異文化理解を深めた。日本・中国それぞれのペアが、名前を交互に呼び合って、スクリーンの前に行き、2人で会話する形式をとった。緊張の中始まったリモート交流だったが、徐々に日常の学校生活の話となり、共通点・相違点に気付き始めた。その後、リモート交流した相手に手紙を書き、佐賀紹介の手作りカルタ作成をして中国側に送った。先方からは、手作りの中国将棋と手紙が届いた。今回の交流をきっかけに、他を知ることで自身を見つめ、共生できる地球市民に成長していくことを期待する。
(文責：徳森)



モタンカ人形で何を願う？？？

(2月26日)

「SAGA Ukeire Network ~ウクライナひまわりプロジェクト~」の活動を学び、ウクライナ伝統のモタンカ人形作成を体験した。ウクライナを知ると共に、ウクライナ出身のサイノグ・ナタリヤさんに「願いを込めて毛糸を1回1回巻いていく」のだとご指導をいただきながら、それぞれの想いでモンタカ人形に向き合った。草の根の交流を通して、世界に目を向ける姿勢を養うことができた。
(文責：徳森)



大きいなる希望を胸に、 新たな生活の始まり

龍谷中学校
中高一貫 理数グローバル

涙と笑顔、中学校課程修了

理数グローバル二期生「卒業式」

3月16日(土)、本校講堂・阿弥陀様のご尊前において「二〇二三(令和五)年度卒業証書授与式」が執り行われました。

ご来賓の方々、保護者、在校生が見守る中、中学三年間の義務教育課程を無事に修了した理数グローバル第二期生(十九名)は、緊張した面持ちで校長の前に進み出で、一人ひとり卒業証書を受け取りました。

生徒を代表して古賀凜さんが、「入学したばかりの一年生の頃は、何もかもが初めて慣れないとばかりでした。そんな中でも周りの方に支えてもらいながら、少しずつ中学生としての自覚を持ち、新しくできた友達と一緒に、毎日の学校生活を楽しく過ごしました。二年生になり、部活動や生徒会活動など、様々な場面で学校の中心的存在となり、一年前よりも大きく成長することができました。担任の先生には『自由の裏には責任がある』ということを教えられ、改めて自分の行動をよく振り返り、責任についてよく学べた一年間になりました。(中略) 中学校課程三年間を無事修了しましたが、これからまた高校、大学、社会人に向かう途中、失敗して挫折そうになることもあると思います。しかし、この三年間を通して学んだことを活かして一人ではないということ、いつまでも暖かく迎えてくれる仲間、先生、そして家族がいるということを忘れず、それぞれが夢のために一步一步、邁進していきます。」と答辞を述べ、仲間や家族、教職員への感謝の気持ち、そしてこれから始まる新生活に向けての決意を伝えました。

式終了後、十九名の生徒のみなさんは、講堂内ステージに登壇し、すべての人に感謝の思いを込めて合唱をしました。

(文責
松尾)



期待を胸に新生活の始まり

理数グローバル五期生「入学式」

4月9日(火)、龍谷中学校・高等学校の「入学式」が、本校体育館にて執り行われました。

新入生(十九名)を代表して千喜田陽龍(厳木小)さんが、「小学校と全く違う新しい環境での生活に少し緊張をしていますが、同時に大きな期待を持っています。中学校生活の中で自分自身を成長させ、夢に向かって進んでいきたいと思います。そのため私は、勉強と部活動を両立させ、文武両道を実現させたいです。」と新生活に向けての決意を述べました。

式後のホームルームの時間は、新入生同士が少しでも早く仲良くなれるよう簡単にゲームを行いました。昼食休憩の時間は、親子で学食を利用されるご家庭が多く、小学校とは違う雰囲気を楽しんでいました。その後、無償貸与されたiPadの初期設定や各種連絡サービスの登録などを親子で行い、龍谷生活の第一日目は終了しました。

新入生のみなさんの希望にあふれたまなざしと、ちょっとびり不安そうな表情が初々しく感じられる晴れの一日となりました。

(文責
松尾)



全校生徒大集合 「チーム龍谷」

二〇二四(令和六)年度 「対面式」



4月10日（水）、本校グランドにおいて「対面式」が行われました。入学したばかりの中学校・高校の新入生と、在校生、そして教職員が一堂に集まり、お互いに挨拶を交わしました。

中学新入生を代表して村山千佳（北川副小）さんが、「今朝私は、学校まで一人で自転車をこいできましたが、学校が近づくにつれ嬉しい気持ちとともに、不安な気持ちもでてきました。しかし、先輩たちの明るい笑顔と元気なあいさつで不安な気持ちも吹き飛びました。（中略）これからは実際に先輩たちと共に学習に取り組み、部活にも挑戦していきたいです。しかし、新しい学校生活の中で仲間作りや学習についていけるか心配です。そんな時は、先輩方の力を貸してください。その力を頼りに、あきらめない気持ちで、頑張りたいと思います。」と挨拶すると、中学・高校の在校生から温かい歓迎の拍手が送られました。

（文責 松尾）



本年度、龍谷中学校・高等学校に赴任してまいりました副校長の藤井昭三です。この長い歴史と輝かしい伝統ある龍谷中学校・高等学校で勤務できることに大きな喜びを感じています。

故事にある「日に新たに、日々新たに、また日に新たなり」の言葉通り、この初心の気持ちをいつまでも忘れず、本校の職員と協力し、理数グローバルコースの更なる発展に貢献することをお約束いたします。

さて、龍谷中高一貫理数グローバルは開設から五年目を迎えることになりました。ご存じのように理数グローバルの「理数」とは教科の名前を示すだけではなく論理的思考の育成をすすめ、物事を項立てて考えていく力を育成することの象徴です。一方、理数グローバルの「グローバル」には外国語の習得にとどまらず、国内外の社会についての広い知識や見識をもたせ、将来、国際社会で通用するような人材の育成を進めることを願っているのです。

生徒それぞれが自分の夢や希望をもち、それに挑戦すること。そして、将来は地域や社会に貢献できる人材になることを願っています。若者には無限の可能性があります。自分の夢実現のためにどこまでも突き進んでほしいものです。その実現のための手伝いを本校は全職員がチームとなり推進してまいりますので、保護者の皆様のご支援、ご協力を、これまでと同様にお願い申しあげます。

小中一貫理数グローバルの目指すもの

退任者・新任者紹介

副校長 藤井 昭三

【退任者】

藤井 森 立	森 厚 優	三 先生（英語）
永 幸	憲 哲	（社会）
先生	凌	（社会）

【新任者】

藤井 森 立	森 厚 優	三 先生（英語）
永 幸	憲 哲	（社会）
先生	凌	（社会）



✿第73回入学式✿

4/2(火)サンメッセ鳥栖にて第73回入学式が挙行されました。後藤学長からの式辞を受けたのち、入学生58名(人間コミュニケーション学科30名、保育学科28名)を代表し、保育学科1年本村瑠理さんが「目標に向かって学問を究め、これから社会の担い手となるべく、充実した学生生活を送ることをここに宣誓いたします」と誓いを述べました。

これから2年間および3年間(3年コース)で多くの事を学び、充実した学生生活を送れるよう、教職員一同サポートしていきます。



▲新入生代表宣誓を行う本村瑠理さん



▲緊張した面持ちの新入生

幼保連携型 認定こども園
九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園

みんな、いっぱいあそぼうね！

[よいこのおやくそく]

- ・わたくしたちは、みほとけさまをおがみます
 - ・わたくしたちは、いつも「ありがとうございます」といいます
 - ・わたくしたちは、おはなしをよくききます
 - ・わたくしたちは、みんななかよくいたします
- 毎朝、手を合わせてお参りをしています



令和6年度スタートしました！



ワクワク、ドキドキの入園式・お迎え式

九州龍谷短期大学
学園だより
鳥栖市

佐賀龍谷学園が設置する学校
(短大・高校・中学)に、兄弟
姉妹が二人以上在籍する場合、
二人目以降のお子様の入学金が
減免されます。
詳しく述べ、各学校事務室まで
お問い合わせください。